

地震発生時における学校の対応について（お知らせ）

向暑の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、地震発生時において、児童の安全確保を第一に考え、下記のような対応をとらせていただきます。各家庭におかれましても、普段から災害時の対応についてお子様にご指導いただくとともに、学校の対応にご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

■登校前に地震が発生した場合

- 南丹市で「震度4」以上の場合、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機）」とします。
- 上記の場合、被害状況や通学路等の安全が確認できれば、登校・授業を行います。なお、「震度5弱」以上の場合、原則、「臨時休校」とします。
- 「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機します。
- 地震発生直後、震度が不明でも身の危険を感じるゆれや被害が発生した場合は、迷わず安全な場所に避難してください。

■登下校中（徒歩もしくはバス乗車中）に地震が発生した場合

- 一番近い安全だと思われる場所へ一時的に避難するよう指導しています。また、揺れが落ち着いたら、「学校」「自宅」のいずれかより近い方、またはより安全と考えられる方に避難するようにも指導しています。
- バス乗車中の時は、運転手さんの指示をよく聞いて、バスの中もしくは安全な場所に移動して一時的に避難するよう指導しています。

■在校中に地震が発生した場合

- 教職員の指示により、校内の安全な場所に避難し待機させます。その後、安全が確認できれば授業を行います。
- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、保護者連携アプリ「tetoru」等を使って連絡をし、できるだけ速やかに児童のお迎え（引き渡し下校）をお願いすることがあります。その際、お迎えがあるまでは、最も安全な場所に避難させ、待機します。
- 「震度5」未満の場合でも、被害の状況によって、生徒の安全を第一に考え、授業の中止・下校・保護者への引き渡し等の判断をします。

■その他

- 「児童の引き渡し」等、特別な対応を行っている間は、学校への電話がかかりにくい状況が想定されますのでご了承ください。
- 自宅待機後の連絡は、保護者連携アプリ「tetoru」・ホームページ等を使って連絡します。
- 地震の状況によっては、学校から連絡ができないことも想定されます。自宅待機後に、連絡が入らない場合は、「臨時休校」と理解いただき、安全確保をお願いします。